



大川都庶第 49号  
平成19年 5月 8日

国土交通省 道路局長 殿

福岡県大川市長 植木 光治



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

【意見の趣旨】

有明海沿岸地域は県北部と比較し、幹線的道路網の整備がおくれ、他の事情とも相まって経済的にたちおくれました。その意味から有明海沿岸道路のすみやかな整備は住民のよろこびとするところであり、感謝に耐えません。

このうえは、更なる延伸に尽力され、同じ文化圏でもある有明海沿岸地域がこの道路により一体となり発展できるよう貴職のご尽力をお願いします。

また、新規道路等の整備もさることながら、有明海沿岸道路にリンクする関連道路の整備促進のほか、交差点改良等、即効性の高い事業の推進にもご理解たまわるようお願いいたします。詳細は以下のとおりです。

本市における道路整備事業の推進につきましては、平素から格別のご理解とご配慮をたまわり深く感謝申し上げます。

道路整備事業につきましては、地域高規格道路「有明海沿岸道路」の着実な事業展開が図られ、平成20年春には、大川西ICまでの暫定供用が予定されているところであります。この「有明海沿岸道路」は、渋滞緩和や交通安全の確保、また有明海沿岸地域の交流促進など、沿岸地域の一体的発展に大きく寄与することから、早期の完成は極めて重要であります。

地域住民の生活環境改善と地域振興、経済社会活動の発展を図るうえで、体系的道路網の整備は極めて重要であり、有明海沿岸道路と側道及びアクセス道路の一体的な整備促進は、喫緊の課題であります。

特に、一般国道208号の整備促進について、本線は、熊本市を起点に有明海沿岸の各都市を横断し、佐賀市までを結ぶ重要な広域幹線道路であり、地域の経済社会活動はもちろんのこと通勤通学路としても極めて重要な路線であります。しかしながら本線は、狭隘箇所や地域の要所において、慢性的な交通渋滞や交通事故の発生など、日々、交通環境が悪化しております。

さらに、歩道や右折車線の未設置など道路機能が十分でなく、地域住民を取り巻く交通環境は極めて厳しい状況にあります。その中で、特に国道444号と主要地方道諸富西島線が接続する「諸富橋西交差点」においては、平成20年春「有明海沿岸道路」大川西ICまでの暫定供用による著しい交通渋滞が懸念され、交通事故対策（歩道や右折車線の設置）と併せて、道路交通の円滑化対策は急務の課題であります。

このことから、重点化を進めるうえで特に優先度の高い政策としては、既着工の事業の早期完了と交通渋滞の緩和が望まれます。また、都市化の進展の中、一般生活道路に対する側溝新設及び老朽化した橋梁や舗装改築など市民ニーズの拡大により快適な生活環境の実現のため新規補助事業の拡充も望んでいるところであります。

本市といたしまして、地域住民の安全確保と交通環境の改善のために特段のご理解とご配慮を賜りますようお願いいたします。